

第4期幌別小学校区きずな計画書

No.	基本目標	基本計画	重点項目	No.	実施項目 (具体的な内容及び活動)	地域(校区)の現状と課題 (重点項目の理由)	連携・運動団体	年次計画				
								R4	R5	R6	R7	R8
1	①きずなを育て確かめる	きずな活動の推進	校区活動	1	●校区きずな推進委員会の運営 (校区内にきずなを広めるための手法の検討と実践)	・「きずな」がどういったものなのか、地域内に知らせることがまず大切。 ・福祉活動の意義を共感してもらうことが、活動者を増やすことにもつながるのではないかな。	町内会、老人クラブ、民生委員・児童委員、地域包括支援センター	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
				2	●住民座談会の開催 (校区内の課題等について意見を交わし合い、協議する場としての実施)	・活動紹介ではなく、地域の課題について話し合い、考える場として実施する必要があるのではないかな。	町内会、老人クラブ、民生委員・児童委員、地域包括支援センター、介護事業所、民間事業者、市	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
				3	●きずなを停滞させない活動の推進 (感染症などの影響下にあっても行える福祉活動の実践)	・どのような状況に合っても向こう三軒両隣の心構えを大切に必要がある。 ・なにも行わないことは簡単だが、それではきずなが絶えてしまう。	町内会、老人クラブ、民生委員・児童委員、地域包括支援センター	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
2	②きずなを護り強める	小地域ネットワーク活動の推進	日頃からの見守り・訪問・声かけの推進	4	●災害時や緊急時を意識した支え合う地域づくり (小地域ネットワーク活動の全域実施と定期的な見守り活動の継続)	・日頃からの活動を継続的に行うことは、いざという時に効果を発揮する。 ・キット設置の話をしていても必要ないと断られ、結果として事業未実施と整理されている現状もある。 ・定期的に情報交換の場を設けることも必要ではないかな。	町内会、民生委員・児童委員、市	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
				5	●地域でのつながりの構築及び強化 (日頃のコミュニケーションの実践と関係性づくり)	・隣人との会話が徐々に減っている ・地域福祉を充実させるためには、当事者間の長年の関係性が必要となる。	町内会、老人クラブ、民生委員・児童委員、地域包括支援センター、介護事業所、民間事業者、市	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
3	②きずなを護り強める	ともに生きる地域づくり	居場所・相談・つながりづくりの推進	6	●地域住民がだれでも集える居場所づくり (既存の取り組みの継続と参加周知)	・様々な取り組みを行っても参加する人が限られている。 ・幅広い地域住民が参加でき、集える機会が必要ではないかな。 ・地域住民にとって必要な居場所がどのようなものか考えていくことも必要。	町内会、老人クラブ、民生委員・児童委員	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
4	①きずなを育て確かめる	きずな(地域)の拠点づくり	介護予防・生活支援活動の充実	7	●多様な関係者の参加による地域の連帯事業の推進 (地域拠点丸ごと支え合い事業推進に関する連携強化)	・移動や買い物に困っている高齢者や障がい者は多い。 ・気楽に参加できるボランティア体験の機会を求めている声もある。 ・事業を通して関係者同士がつながることで、何かあった時や関わりが難しい世帯への対応の連携もとやすい。	町内会、民生委員・児童委員、地域包括支援センター、アーニス、川田自動車、地域拠点丸ごと支え合い事業運営委員会	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
5	②きずなを護り強める	ともに生きる地域づくり	関係機関との連携	8	●社会福祉法人の地域貢献活動としての地域共生社会の実現に向けた取り組みの推進 (鍵預かりサービス事業の周知啓発及び連携強化)	・サービスがあるのに十分に活用されていないように感じる。 ・関係機関との関係性の構築にも有効活用できる。	町内会、老人クラブ、民生委員・児童委員、地域包括支援センター、介護事業所、民間事業者、市	実施	⇒	⇒	⇒	⇒